

2018 年度 立命館附属校 教師塾（新任研修） I ・マナー研修

附属校教育研究・研修センター

4月24日（火）朱雀キャンパスにおいて、附属校教育研究・研修センター主催「教師塾 I 《マナー研修》」を実施した。講師は、昨年度に引き続き、株式会社ワコールキャリアサービスからコミュニケーションコンサルタントの高橋京子先生をお迎えした。

参加者は、14名（立命館中高3名、立命館小学校2名、立命館宇治中高5名、立命館慶祥中高3名、立命館守山中高1名）であった。

《研修内容》

初めに今回の研修の目的をお話していただきました。

今回の主題は感じの良い自己表現とは何か見つめ直し、生徒・保護者・職員間のコミュニケーションがより円滑になることをめざすことでした。教員は普段生徒と接していることが多いとはいえ、保護者の前でしっかりマナーが出来なければ、その教員の人柄や想いを勘違いして受け取られてしまうので、しっかりとしたマナーを身に付けておく必要があることが理解できました。

一般的にスタンダードとされるマナーの形を教えてくださいましたが、マナーで大事なものは形だけではなく、「相手を思い遣る心」だと強調されていました。

次のような具体的な講習内容を受けました。

- ・笑顔での受け答えする練習(目が微笑んでいるかを見るために口元を隠して会話する)
- ・来客時のマナー(ドアの開閉・上座下座の考え方)

- ・電話対応(尊敬語・謙譲語の使い方、相づち)
- ・クッション言葉

(「申し訳ありませんが」など、文章に添えることでクッションのように相手の心を和らげる言葉)

- ・ビジネスメール(メールでの言葉づかい)
- ・名刺の渡し方(渡し方、もらい方、扱い方)

最後に、組織における「報・連・相」を大事にしなければならないとお話がありました。組織における大きなトラブルに発展するケースは「報・連・相」をおろそかにしていることからが多い。当事者がストレスを抱え、追い込まれないようにするために、「報・連・相」を徹底し、組織全体で支えていくことが大事であると教えてくださいました。(記録 立命館中高 慶川源将)

(編集 附属校教育研究・研修センター 羽田 澄)



<目が微笑んでいるかをチェック>



<名刺の渡し方>